上下水道分野

水道分野

下水道分野

課題①【災害対応】

上下一体での災害対応のノウハウ が不足

- ⇒上下水道合同訓練の実施
- ⇒上下水道BCPの策定

課題②【老朽化施設の増大】

広域連携の実施(施設の統廃合)

⇒水道施設の統廃合・共同利用

課題②【老朽化施設の増大】

汚水処理手法の見直し

⇒し尿処理場の流域下水道への統合

課題②【老朽化施設の増大】に対応する課題③【ヒトの不足】や課題④【カネの不足】

- ⇒管路等埋設物データの共有化
- ⇒点検調査等の共同化
- ⇒共通資機材の共同調達
- ⇒給排水申請手続きの共同化

- ⇒合同研修·外部委託
- ⇒漏水調査等の共同発注
- ⇒システムの共同化
- ⇒設備・機器等の共用化

- ⇒ W-PPPの導入に向けた勉強会・個別相談会
- ⇒管路点検・調査の共同発注
- ⇒改築更新の標準化
- ⇒下水道台帳の共有化





・・・・ 上下水道が連携した災害対応訓練の実施、上下水道BCPの策定

- ② 維持管理効率化
- ・・・ 共同発注・調達・利用、情報一元化、申請書類統一化・一括審査、施設の統廃合
- ③ 人材育成·確保
- ・・・ 合同研修会や合同職業説明会の実施

4 財源確保

・・・ 予算制度の理解や財源確保に向けた取組

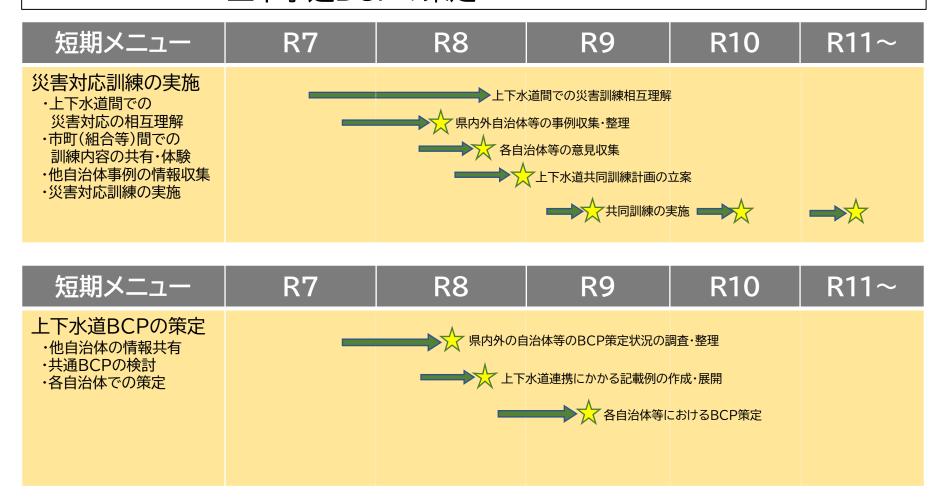
取組方針(4つの柱)の各メニューについて

	メニュー	短期(~3年)	中期	(~5年)	長期(~10年)				
①災害対応	災害対応訓練の 実施	▶上下水道間での災害対応の相互理解 ▶市町(組合等)間での訓練内容の共有・体験 ▶他自治体事例の情報収集 ▶災害対応訓練の実施							
京応	上下水道BCPの 策定	▶他自治体の情報共有 ▶共通BCPの検討 ▶各自治体での第							
	メニュー	短期(~3年)	中期(~5年)		長期(~10年)				
	共同調達の 実施	▶調達物の選定、業者ヒアリング、調達体制の構築▶可能な物品について共同調達の実施							
2	給排水設備申請 書類の統一化	▶工事申請書類の統一化:水道・下水道で連携して進める ▶指定工事店登録申請事務の一元化:水道・下水道それぞれで検討を進める							
②維持管理効率化	維持管理の 共同化	▶共同化・共同調達の継続、新規項目の検討、広域連携モデル事業の検討 (滋賀県広域化推進プランに基づき実施)							
理		▶管路の点検・調査の共同化		▶管路の診断・解析の	D共同化				
効 率 化	維持管理の 共同化 ▶接続点の水質調査の共同化	▶MHP保守点検 ▶下水道台帳の共	共有化 ▶窓[コ業務の共同化に向けた検討 投修繕工事の共同化に向けた検討					
	W-PPP	▶先行自治体へのヒアリング ▶各自治体における導入調査 ▶先行処理区での導入実施	▶導入·検討状況の共有と検証 ▶広域型W-PPPの検討						

取組方針(4つの柱)の各メニューについて

	メニュー	短期(~3年)	中期(~5年)	長期(~10年)			
		▶大学等との連携(県・市町上下水道部局合同での出前講座等)					
③ 人	人材確保	▶転職サイトやイベントへの参加 ▶採用情報等の共同発信(合同説E					
③人材育成·確保	人材育成	▶実施事業の継続(受入研修の実施	施、滋賀県水道協会研修	5)			
確 保	人材育成	▶実施事業の継続(下水道技術講習会の実施、汚水処理事業広域化・共同化研究会等での勉強会の実施)▶下水道事業者間の受け入れ研修の実施▶自治体間の人材交流					
	メニュー	短期(~3年)	長期(~10年)				
<u>4</u>	予算	▶交付金・補助金制度の勉強会、活用事例の情報共有▶国等への要望活動					
④財源確保		▶料金等水準の現状把握					
1木	料金·使用料	▶料金等改定の要否検討、必要に帰	なじて改定				

①【災害対応】 上下水道が連携した災害対応訓練の実施 上下水道BCPの策定



②【維持管理効率化】

共同発注·調達·利用 申請書類統一化·一括審査

短期メニュー	R7	R8	R9	R10	R11~
共同調達の実施① 県流域+企業庁	_	協議、共同語	間達可能な物品の選定		
・調達物の選定、業者ヒア リング、調達体制の構築 ・可能な物品について共同 調達の実施		Λ.	をのスキーム検討 発注仕様書等の作成・入札 内	共同調達の実施	

短期メニュー	R7	R8	R9	R10	R11~
共同調達の実施② 県+県内市町(上下水道)		県内自	 治体等の意向調査・整理 共同調達可能な物品の選	宦	
・調達物の選定、業者ヒア リング、調達体制の構築 ・可能な物品について共同 調達の実施			共同調達のスキーム検討	発注仕様書等の作成 入札準備 ・ 契	看~入札 約・共同調達の実施

②【維持管理効率化】 共同発注·調達·利用 申請書類統一化·一括審査



短期メニュー	R7	R8	R9	R10	R11~
ウォーターPPP ・先行自治体ヘヒアリング	→ ☆	勉強会の実施 先行自治体ヒアリング			
・各自治体での導入調査	_			各自治体での導入調査	
・先行処理区での導入実施	FS調査·導入検討	公募書類作成~公募開始	公募契約	事業実施 先行	行処理区での導入実施

②【維持管理効率化】 給排水設備申請書類の統一化

・排水設備分科会を設置(リーダーは近江八幡市)

参加市町:13市5町 大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、

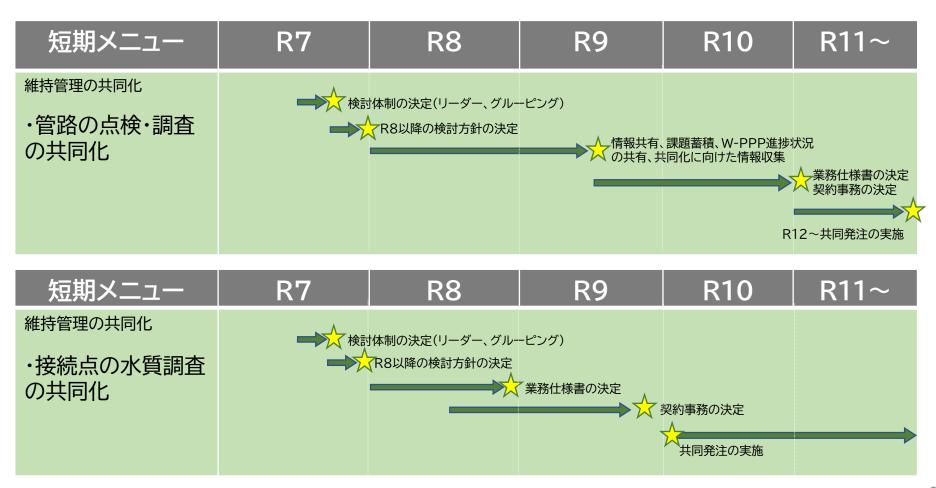
高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、甲良町、多賀町、(滋賀県)

・本メニューの検討体制および検討スケジュールを決定

短期メニュー	R7	R8	R9	R10	R11~
給排水設備申請書類の 統一化(上下水道) ・工事申請書類の 統一化		体制の決定(リーダー、グルート R8以降の検討方針の決定	申請図面整理・条例整理・		★ 書類の統一化 書類での申請受付実施
短期メニュー	R7	R8	R9	R10	R11~
給排水設備申請書類の 統一化(下水道) ・指定工事店登録申請 事務の一元化	/ N	体制の決定(リーダー、グルー R8以降の検討方針の決定	-ピング) 審査窓口・条例整理・審査 検討項目の洗い出し 検討項目ごとに整理	書類統一化・周知方法・申	語言手数料等の 人 人 一括審査の実施

②【維持管理効率化】 維持管理の共同化 (管路の点検・調査、接続点の水質調査)

- ・管路の点検・調査、接続点の水質調査分科会を設置(リーダーは長浜市)参加市町:6市4町 彦根市、長浜市、栗東市、湖南市、高島市、米原市、日野町、愛荘町、甲良町、竜王町、(滋賀県)
- ・本メニューの検討体制および検討スケジュールを決定



③【人材育成·確保】 人材育成、人材確保

短期メニュー	R7	R8	R9	R10	R11~
人材確保 ・大学等との連携 (県・市町上下水道部局合 同での出前講座等) ・転職サイトやイベントへの 参加 ・採用情報等の共同発信 (合同説明会、ポスター等)		→	→☆合同説	→ 大学 明会の実施	学への出前講座
短期メニュー	R7	R8	R9	R10	R11~
人材育成 ・受入研修の実施 ・滋賀県水道協会研修 (年8回程度)	実施実施			→	事業者間受入研修水道協会研修
短期メニュー	R7	R8	R9	R10	R11~
人材育成 ・下水道技術講習会の実施 ・汚水処理事業広域化・共	実施				下水道技術講習会 広域化共同化勉強会
同化研究会等での勉強会 の実施 ・下水道事業者間の受入 研修の実施 ・自治体間の人材交流	実施	→ ☆	→ ☆	→ ☆	事業者間受入研修
HATTIG-77 VIJ A//III					

4【財源確保】予算制度の理解や財源確保に向けた取組

短期メニュー	R7	R8	R9	R10	R11∼
予算	☆ アンケート (勉強会デ	・調査 - 一マの把握、補正予算の活施 	用状況、要望活動等) 共有、勉強会の開催等		
料金·使用料		研修会(現状把握	会(料金改定))見直し、研修会の開催	———